

# 文化のチカラ

VOL.  
**11**  
2019  
Summer



特集  
男の茶道

アルカス SASEBO

## 伝統文化 佐世保こども茶道教室



アルカスSASEBOでは子どもたちを対象に、地元の表千家流、裏千家流、宗徧流、鎮信流の4流派の方々に講師としてご協力を頂きながら、日本の伝統文化や日常生活に役立つ作法を学べる茶道教室を開催しています。

### ☺ 表千家流の生徒さん

・日本の歴史が知れたのが楽しく、また続けたいと思います。  
・友だちができたし勉強になったのでよかったです。

### ☺ 宗徧流の生徒さん

少しは日本の文化になじむことができたと思います。来年もやりたいです。

### ☺ 裏千家流の生徒さん

今学校で歴史の勉強をしていて、室町時代から続いている文化だから、大切にしないといけないなあと思いました。

### ☺ 鎮信流の生徒さん

お茶を点てる人によって味も違ったり、とても美味しかったです。毎月のお菓子も楽しみでした！

生徒のみなさん  
茶道教室はどうですか？

| お問い合わせ | アルカスSASEBO TEL.0956-42-1111

※今年度の募集は終了しております。

学校法人 九州文化学園

## 茶道教育の取り組み



学校法人九州文化学園では、長年、茶道鎮信流を教育方針の中核に位置付け、様々な活動を行っています。運営する各学校には茶室が設けられるなど、その取り組みは、全国的に見てもとてもユニークで、長崎国際大学では、初年次教育に、茶道が組み込まれています。今回はその中でも一般の方も参加できる年中行事をご紹介します。

| お問い合わせ | 長崎国際大学 茶道文化 TEL.0956-20-5595

こちらもチェック!

## CHECK

毎月、市内文化施設のイベントカレンダーを佐世保市ホームページ、Facebookページ「文化のチカラ」に掲載しています。



④ お茶を頂く

畳の上にお茶碗が置かれたら、お茶を頂きませう。最後は吸いきりの音を立てて残さず飲み干しましょう。



⑤ お道具拝見

客人全員がお茶を飲み終えた後、茶道具を拝見します。棗(もしくは茶入れ)や茶杓等を拝見し、道具の形や作者について質問します。



① 床の間拝見

茶室に入ったら床の間の前に正座で座り、お辞儀をしてから、床の間の「掛物」と「お花」と拝見します。その後、風炉・釜を拝見したら自分の席で正座をして、亭主の入室を待ちます。



② 亭主入室

亭主が茶道具を持って入室します。亭主が点前座(お点前をする場所)に座り、お点前の準備が整ったら、亭主と互いに一礼をします。



③ お菓子を頂く

亭主がお点前を始めると、半東(亭主のサポートをする人)がお菓子を運んできてくれるので、自分の分を取って、お茶が出てくる前に食べましょう。

## 二 茶会の流れ

茶会とは、客人を招きお茶と一緒に日本文化を楽しむ会のこと。まずは茶会の流れを簡単にレクチャーしてもらいました。

## 茶会に行くなら 持ち物も忘れずに

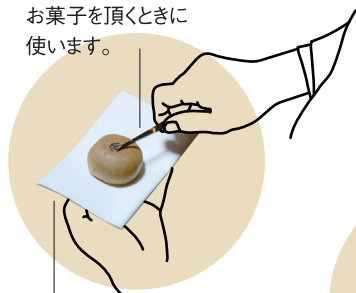
茶会や稽古に参加するには、これらを準備しましょう。



全部用意できない時は、★だけでも大丈夫!

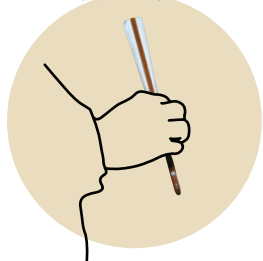
### くろもじ★ 黒文字

お菓子を頂くときに使います。



### せんす★ 扇子

茶室であいさつする時に使います。



### かいし★ 懐紙

お菓子をのせるために使う厚手の和紙。

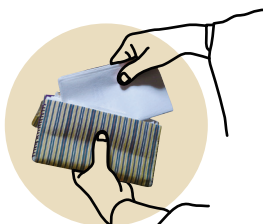


### ふくさ 出し帛紗

濃茶を飲むときや、道具を拝見するときに使います。

### ふくさ 帛紗ばさみ

持ち物を入れる袋。



# 男たちが茶道にハマる理由

旧肥前平戸藩から佐世保に伝わった武家茶道「鎮信流」にハマった男たちに、茶道の魅力や楽しみ方を存分に語ってもらいます。

私たちが茶道の魅力をお伝えします!



吉田 祐輔さん

米海軍佐世保基地勤務  
茶道歴10年

松浦 純二さん

茶道鎮信流松治会 会長  
茶道歴約50年

山下 龍さん

長崎大学勤務  
茶道歴20年

中里 太陽さん

三川内焼窯元  
茶道歴14年

## 一 案内人紹介

今号で茶道の魅力を伝えてくれる四人の案内人たちを紹介します。

三 川内焼が興るきっかけとなった文禄・慶長の役400年の節目に、韓国で開かれたお茶会に招待されたのがきっかけでお茶をはじめました。人と人がいてはじめて成り立つ「おもてなし」の文化としての茶道には、ストイックに自分自身と向き合う作陶とは違った楽しさがありますね。

国 際交流員として、平戸を訪れた際に、鎮信流と出会いました。元々師範の免許を取るほど空手に魅了されていたのですが、その恩師から「強い道だけでなく、柔らかい道も勉強しなさい」と言われたことも茶道を始めたきっかけのひとつです。「日本文化の百科事典」と言われる茶道は、勉強をいくら重ねても学びが尽きず、それもまた魅力ですね。

茶 道「鎮信流」の宗家、松浦家からの流れもあり、若い頃から茶道に親しみ、現在は全国支部を束ねる「松治会(しょうこうかい)」の会長を務めています。茶道の魅力は、生活の雑事から離れて「非日常」の時間を過ごせること。稽古の厳しさと茶会の楽しさは、男性だからこそ理解できる部分もあるんじゃないでしょうか。

ア メリカ人に囲まれて仕事をする中で、改めて日本文化を学びたくなり、茶道をはじめました。いわゆる「道」の中でも、茶道は、書、生け花、所作など本来、日本人として知っておきたい自国文化のエッセンスが詰まっています。



Check!

佐世保独楽がモチーフ

### おもがし 主菓子

饅頭や練り切りなど、主に餡を用いたお菓子。



### ひがし 干菓子

らくがん 落雁や煎餅などの乾燥したお菓子。

結構でございます



### 茶を楽しむ

薄茶と濃茶では、使う抹茶の量だけでなく、使用する抹茶の種類や茶碗、お菓子、茶の点て方も変わるのがポイント。薄茶は一つの茶碗を一人で飲むのに対し、濃茶はひとつの茶碗を2〜3人で「回し飲み」します。



### 濃い茶

たくさんの抹茶で練られたお茶。色も味も濃厚で、とろみがある。



### 薄い茶

少ない量の抹茶で点てられた、一般的に馴染みのあるお茶。

### 亭主の個性を楽しむ

客人をもてなすために、お点前はもちろん、季節に合わせてお菓子や掛物を選んだり、花を生けたり、炭やお湯の下準備をするなど、やることがもりだくさん。そんな亭主の心配りや趣向を楽しむことも、茶の湯の楽しみ方の一つです。



佐世保の茶会では三川内焼にも出会えるかも

### 茶道具を楽しむ

職人技が詰まった茶道具は男心をくすぐります。道具一つ一つの美しさを楽しむと同時に、「同じ時代のもの」や「同じ地域のもの」等、道具同士の組み合わせを楽しむのも◎

ふるかま 風炉・釜  
お湯を沸かす道具。



みずさし 水指

釜に補給するための水や、茶碗、茶筌などをすすぐための水を入れる容器。

Check!

平戸の荒波が表現されている



なつめ 棗

薄茶のための抹茶を入れる容器。濃茶を入れる容器は「茶入れ」と呼ばれる。



ちゃせん 茶筌

抹茶と湯をまぜて茶を点てるためのもの。

ちゃしゃく 茶杓

抹茶をすくうための道具。



ちゃわん 茶碗

お茶を飲む容器。

Check!

鎮信流の宗家・松浦章さんの直筆どとか

ひしゃく 柄杓

お点前の時に湯や水をくむためのもの。



Check!

ふた おき 蓋置

釜の蓋や柄杓を置く台。

### 掛物・花を楽しむ

掛物とお花をサブアイテムと思っただら大間違い！掛物は茶会のテーマや亭主の気持ちが表されており、茶会には欠かせない重要な存在です。



#### 掛物

書と絵の2種類がある。書は和歌や手紙など、絵は山水画や花鳥画などが使用される。

#### 花

茶席でただ一つ命あるものとして、茶会に彩りを添えるもの。季節の花が飾られる。

茶道は書もお花も楽しめるのがポイント



### お点前を楽しむ

同じ手順でも、お茶を点てる人によって、印象が全く異なるのがお点前の魅力。



#### お点前

客人の前でお茶を点てる一連の動作のこと。一つの流派でも、何十種類ものお点前がある。

男性のお点前は力強さがあるので、みんなに見てほしい！

## 三 茶会の楽しみ方

茶道には「おいしい」以外にも魅力がいっぱい。そんな茶道の楽しむポイントを紹介してまいりました。

# 佐世保で茶道



茶道のアウトラインを理解したら、あとは足は運ぶだけ!  
佐世保には5つの茶道流派があり、それぞれの個性があります。  
男性・女性を問わず、皆さんも気になる流派で茶道を体験してみては?

## 表千家流 佐世保同好会



| 主な活動場所 | アルカスSASEBO、玉屋、円通寺  
| 年間行事 | 茶筌供養、春・秋茶会(放下会) 等

**表** 千家流は古くからの作法を忠実に守り、わびさびのある流派です。私たちはアルカスSASEBOや玉屋、円通寺などで活動を行っており、日々、日本のおもてなしの心を体得しております。茶道は難しいものと思われるかもしれませんが、初めての方にも丁寧に所作をお伝えしますので、是非一緒に楽しみましょう。

## 茶道宗偏流 正伝庵 佐世保支部



| 主な活動場所 | 佐世保市木風町12-14  
| 年間行事 | お茶会(年数回)  
茶と花の融合展(2年に1回・東京にて) 等

**当** 流では宗偏伝来の侘び茶の心と茶道のお点前、茶道理論と実技の向上に力を注ぎ、茶禅一味の精神で精進しております。多くの方に茶道の魅力をお伝えできればと思いますので、是非お茶会やお稽古にお越しください。

## 茶道裏千家流 淡交会 佐世保支部



| 主な活動場所 | アルカスSASEBO、黒髪山大智院  
| 年間行事 | 初釜、茶筌供養、年3回季節の茶会 等

**茶** 道は人と人との関わりを大切に「もてなしの文化」です。お点前を繰り返し稽古することで、もてなしの心が自然と身につくように私たちは励んでおります。「着物が好き」「おいしいお茶とお菓子を頂きたい」きっかけはどんな理由でも構いません。より多くの方に茶道に触れて頂きたいと思っております。

## 茶道宗偏流 不審庵会 佐世保支部



| 主な活動場所 | アルカスSASEBO  
| 年間行事 | 茶筌供養、茶会(年数回) 等

**山** 田宗偏が創始した宗偏流は、利休の「侘び茶」を継承している流派です。茶道の良さはお茶やお菓子だけではございません。美を鑑賞する心を養い、奉仕の心でお茶を点て、共に安らぎの時を楽しみましょう。

### 入門 歓迎



| 主な活動場所 | アルカスSASEBO 他  
| 年間行事 | 総会、初釜、茶会、他

## ここが かっこいい! 鎮信流

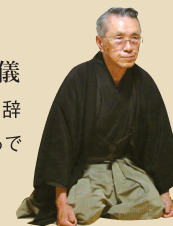


### ◎羽織袴

袴に羽織を着るのが鎮信流!羽織は武士の正装で、スーツでいうジャケットのような役割があります。扇子は脇差に見立て左腰に装着!

### ◎お辞儀

こぶしをついてお辞儀をする姿はまるで武士そのもの。



鎮信流とは

松浦さん: 鎮信流の良さは、「武家らしさ」があるところ。お辞儀の仕方や扇子の収め方など、あらゆる所に武士らしさを見ることができ  
ます。  
山下さん: 正直なことを言うと、最初はあまり茶道に興味がなく(笑)。ですが、実際に鎮信流のお点前を見ると、かっこよさに目ぼれし、そのまま茶道を20年続けています。  
吉田さん: 私は武士らしい、簡素

を旨とする所作や考え、長く地域に根づいているところにグッときます。  
中里さん: 鎮信流は茶道具に三川内焼を使用することがあり、所作だけでなく、道具からも地域性を感じられるところが魅力の一つ。  
松浦さん: 鎮信流は武士の茶道。もちろん女性の生徒さんも多いのですが、鎮信流をきっかけに、男性にも茶道に興味を持ってもらえたら嬉しいですね。

茶の湯は飲食の楽にあらず。心を磨く修行なり。

## 茶道鎮信流 佐世保支部松清会

今回案内人を務めて頂いた4人が所属する流派。発祥の地である平戸や佐世保をはじめ、全国に8つの支部があります。おもしろさを、みなさんにお聞きしました。

### ◎今日の掛物

和敬清寂(わけいせいじゃく)「和」は人間同士の和、「敬」は互いに敬う心、「清」は心の中の清らかさ、「寂」はどんなときにも動じない心を意味します。茶道によって平和を叶えようとした鎮信流の心根を表しています。



旧肥前平戸藩の第四代藩主・松浦 鎮信(1622~1703)が創始し、松浦家に伝わる武家茶道の一派。武力ではなく人徳で平和な世を作ること理想とし、当時の松浦家の武人たちは、茶道を通じて人徳を養おうとしました。創始後は松浦家の中でだけ伝承され、外部には公開されていませんでしたが、昭和11年に佐世保市に門戸が開かれて以降、現在まで全国各地で多くの方が鎮信流で武家茶道を嗜んでいます。